



小学校 4年( )組 ( )番 名前( )

学校教育目標や育成したい資質・能力を踏まえ、4年生の目指す姿を配付前に教職員が記入しましょう。4年生がイメージできるような具体的な姿で示すことがポイントです。配付時には、教職員の思いを児童に説明しましょう。

4年生が終わったときこんな自分になりたい

今年度末の自己の目指す姿を児童自身に設定させます。「〇〇の場面で〇〇ができるようになる。」といった具体的な姿や態度で設定させてください。

広島県の15歳の生とに身につけておいてもらいたい力

○自己をにんきする力

自分は何か

○自分の人

○表げんする

自分自身の

「広島県の15歳の生徒に身に付けておいてもらいたい力」を記載しています。意図は、小学校段階から15歳という義務教育終了時の自分の姿を意識させるためです。おそらく、読んだだけでは理解できない箇所もあると思います。ぜひ、児童への配付時には当欄の記載について触れ、今後、どのような力を伸ばしていく必要があるのかについて説明しましょう。

や表げんの仕方などをくふつしなからつたえることかできる力のことで

## 1学期

こんな自分になりたい

今年度末の自己の目指す姿を踏まえて、自らの目指す姿を設定させてください。目指す姿が書けない児童は、頑張ることを書かせてもよいです。



1学期の自分をふり返りましょう

(学習面)

これまでの授業や学校行事の記録、上記の「なりたい」姿などを基に記入させます。「できた・できていない」だけでなく、できるようになるために行動した自分にも気付かせることが何よりも大切です。できるようになっていなくても、そこに向けて力を注いだことがあることを伝え、「〇〇を続けた」など児童の努力を自覚できるようにし、頑張りを認めることとして、肯定的に捉えることができるよう支援をしましょう。

( )は、児童に設定させてください。今学期頑張ったことなどを考え、自由に設定して構いません。学期ごとに違うことも考えられます。自分で設定することが難しい児童の場合、教職員が例示し、選択させるという方法も考えられます。

## 2学期

こんな自分になりたい

前の学期と内容が同じになる児童もいます。頑張りを認めることとして認め、無理に変更させることがないようにしましょう。



2学期の自分をふり返りましょう

(学習面)

(生活: そうじの時間, 係活動, クラブ活動, 学校行事など)

(家や地いき)

( )

## 3学期

こんな自分になりたい



3学期の自分をふり返りましょう

(学習面)

(生活: そうじの時間, 係活動, クラブ活動, 学校行事など)

(家や地いき)

( )

## 1年間をふり返って

この1年でせい長したと思うこと

どんな些細なことでもよいです。自分の成長に気付かせてください。これまでの学年と比較し、自分の成長を振り返ることで、この1年間の成長を実感させることも考えられます。

自分のよいところや、とく意なこと

友達同士で、お互いに頑張っていたところや良かったところを語り合う活動を取り入れることも考えられます。

こんな5年生、高学年になりたい

5年生で新たに始まることや、なりたい5年生像などについて、話し合うことなどにより、新しい学年に向かって、希望をもたせるようにします。学級活動等で意見交流することも良いアイデアです。

先生や家の人から児童の頑張りができるようになったことなど、気付いたことを積極的に伝えることで、児童が自らのよさや可能性を見いだしたり、自己肯定感を高めたりすることにつながります。十分に振り返りが書けなかった児童に対しては、児童自身が自覚できなかったよさや可能性などをメッセージとして送ることで、将来、自分の成長を振り返ることができます。